

もうひとつの地球の歩き方

How to walk on another Earth.

【作・演出】 鴻上尚史

【出演】 秋元龍太郎

小沢道成 小野川晶 三上陽永 森田ひかり 池之上真菜 梅津瑞樹 溝畑 藍
橘 花梨 一色洋平 ほか

【公演日程・会場】

- 東京公演 ● 2018年1月19日(金)～1月28日(日): 座・高円寺1
- 大阪公演 ● 2018年2月2日(金)～2月4日(日): ABCホール
- 愛媛公演 ● 新居浜市市制施行80周年記念事業・株式会社ハートネットワーク創立30周年記念
2018年2月10日(土)～2月11日(日): あかがねミュージアム あかがね座
- 東京凱旋公演 ● 2018年2月15日(木)～2月18日(日): 東京芸術劇場 シアターウエスト

生きることに挫けたら、今ある地球を捨てて、もうひとつの地球を歩こう。

もうひとつの地球は過去にしかないのか。

それともネットの中なのか。あなたと私の記憶の中なのか。

それとも、どこかの未来なのか。

これは、記憶とシンギュラリティと天草四郎の物語

「虚構の劇団」は、2008年に、作家・演出家の鴻上尚史が未来ある若者と共に演劇を創るため旗揚げした劇団です。結成10年目を迎える2018年の本公演では、約2年ぶりとなる鴻上尚史の新作『もうひとつの地球の歩き方～How to walk on another Earth.～』を、新鋭の客演陣を迎えお届けします。

つきましては、公演の概要などをまとめました企画書をお送りさせていただきます。お問い合わせ、資料のご請求、ご取材のご依頼、ご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

【お問合せ先】 サードステージ (担当: 倉田)

〒169-0075 新宿区高田馬場 3-1-5 サンパティオ高田馬場 102

TEL: 03-5937-4252 FAX: 03-5937-4253

メール: kyokou@thirdstage.com

【公演概要】

<タイトル>

虚構の劇団 第13回公演

『もうひとつの地球の歩き方

～How to walk on another Earth.～

<作・演出> 鴻上尚史

<出演>



秋元龍太郎



小沢道成



小野川晶



三上陽永



森田ひかり



池之上真菜



梅津瑞樹



溝畑 藍



橘 花梨



一色洋平

ほか

<公演スケジュール>

●東京公演●



高円寺
ZA KOENJI PUBLIC THEATRE

冬の劇場 26

日本劇作家協会プログラム



日本
劇作家
協会

2018 都民芸術フェスティバル 参加公演

日程：2018年1月19日（金）～1月28日（日）

会場：座・高円寺1

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 2-1-2

TEL 03-3223-7500 ※JR中央線「高円寺」駅北口徒歩5分

2018.	1/19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00			●		●		●		●	●
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

※開場は開演の30分前

※当日券は開演1時間前より劇場受付にて販売いたします。

※未就学のお子さまはご入場いただけません。

◎以下のサービスは劇場（座・高円寺）で承ります。

お申込・お問い合わせは座・高円寺チケットボックスTEL 03-3223-7300まで。

*車椅子スペースをご利用の方は、前日までにお申し込みください（定員あり）。

*障がい者手帳をお持ちの方は、座・高円寺チケットボックスでのご予約に限り1割引きになります。

*託児サービス（定員あり・対象年齢1歳～未就学児・1週間前までに要予約）：23日、25日、27日の14時～の回は託児サービスをご利用いただけます。（定員あり・対象年齢1歳～未就学児・1週間前までに劇場チケットボックスに要予約）料金：1,000円。

【チケット】 4,800円（税込／前売・当日共通／全席指定）

【学割チケット】 3,000円（税込／予約販売のみ）

※学生のお客様を対象とした枚数限定の割引チケットです。

※虚構の劇団HP (<http://kyokou.thirdstage.com/>) からチケット発売後ご予約いただけます。

※HPより事前ご予約の上、当日劇場受付にて開演30分前から、お支払い・チケットをお受取りいただけます。受付時に、学生証の提示が必要です。お席はお選びいただけません。

<チケットに関するお問い合わせ>

サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (10:00～18:00)

後援：杉並区

提携：NPO 法人劇場創造ネットワーク／座・高円寺

●大阪公演●

日程：2018年2月2日（金）～2月4日（日）

会場：ABCホール

〒553-8503 大阪市福島区福島1丁目1番30号

TEL：06-6451-6573

阪神本線「福島駅」から徒歩5分、JR東西線「新福島駅」から徒歩5分

JR環状線「福島駅」から徒歩7分、京阪中之島線「中之島駅」から徒歩7分

2018.	2/2	3	4
	金	土	日
13:00			●
14:00		●	
19:00	●	●	

※開場は開演の30分前

※当日券は開演1時間前より劇場受付にて販売いたします。

※未就学のお子さまはご入場いただけません。

【チケット】 4,800円（税込／前売・当日共通／全席指定）

【学割チケット】 3,000円（税込／予約販売のみ）

※学生のお客様を対象とした枚数限定の割引チケットです。

※虚構の劇団HP (<http://kyokou.thirdstage.com/>) からチケット発売後ご予約いただけます。

※HPより事前ご予約の上、当日劇場受付にて開演30分前から、お支払い・チケットをお受取りいただけます。受付時に、学生証の提示が必要です。お席はお選びいただけません。

<チケットに関するお問い合わせ>

キョードーインフォメーション 0570-200-888（10:00～18:00）

●愛媛公演● 新居浜市市制施行80周年記念事業・株式会社ハートネットワーク創立30周年記念

日程：2018年2月10日（土）～2月11日（日）

会場：あかがねミュージアム あかがね座（新居浜）

〒792-0812 愛媛県新居浜市坂井町2丁目8-1

TEL：0897-31-0305 ※JR「新居浜」駅から徒歩1分

2018.	2/10	11
	土	日
13:00		③
14:00	①	
18:00	②	

※開場は開演の30分前

※当日券は開演1時間前より劇場受付にて販売いたします。

※未就学のお子さまはご入場いただけません。

【チケット】

一般 前売 3,500円 当日 4,000円（全席指定／税込）

学生（中・高生） 1,500円（全席指定／税込）

<チケットに関するお問い合わせ>

あかがねミュージアム運営グループ（0897-31-0305）

●東京凱旋公演● // 2018 都民芸術フェスティバル 参加公演

日程：2018年2月15日（木）～2月18日（日）

会場：東京芸術劇場 シアターウエスト

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1 TEL. 03-5391-2111(代)

※JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。

駅地下通路 2b 出口と直結しています。

2018.	2/15	16	17	18
	木	金	土	日
14:00			③	⑤
19:00	①	②	④	

※開場は開演の30分前

※当日券は開演1時間前より劇場受付にて販売いたします。

※未就学のお子さまはご入場いただけません。

【チケット】 4,800円（税込／前売・当日共通／全席指定）

【学割チケット】 3,000円（税込／予約販売のみ）

※学生のお客様を対象とした枚数限定の割引チケットです。

※虚構の劇団HP (<http://kyokou.thirdstage.com/>) からチケット発売後ご予約いただけます。

※HPより事前ご予約の上、当日劇場受付にて開演30分前から、お支払い・チケットをお受取りいただけます。受付時に、学生証の提示が必要です。お席はお選びいただけません

<チケットに関するお問い合わせ>

サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (10:00～18:00)

●一般発売：2018年11月25日（土）AM10:00～●

【公演に関するお問合せ】

サードステージ：☎03-5937-4252（平日 11～18時） <http://www.thirdstage.com>

■虚構の劇団：kyokou@thirdstage.com <http://kyokou.thirdstage.com/>

【劇団プロフィール】

虚構の劇団 (きょこうのげきだん)

作家・演出家の鴻上尚史が、自身の演劇観を若い俳優と共有しつつ作品を作り上げていくために旗揚げした劇団。現代社会への鋭い視点から生み出された「ことば」の奔流と、それに真っ向から挑む役者の熱気あふれるパフォーマンスが魅力。旗揚げ公演で観客動員数 3000 人を達成。旗揚げ公演からの三部作をまとめた戯曲集『グローブ・ジャングル』が第 61 回読売文学賞戯曲・シナリオ賞を受賞。 【劇団 HP】
<http://kyokou.thirdstage.com/>

【作家プロフィール】

鴻上尚史 (こうかみ しょうじ)

作家・演出家。1958 年愛媛県生まれ。1981 年に劇団「第三舞台」を結成（2011 年解散）。『朝日のような夕日をつれて』『ハッシャ・バイ』『天使は瞳を閉じて』『トランス』ほか多くの作品を発表。人気を博す。現在はプロデュースユニット「KOKAMI@network」、2008 年 5 月に旗揚げした新劇団「虚構の劇団」での作・演出を中心に活動するほか、エッセイスト、ラジオ・パーソナリティ、テレビ番組司会、小説家、映画監督などとして幅広く活動。1997 年には文化庁在外派遣研修員として渡英し、ギルドホール音楽演劇学校にて演劇ワークショップのリーダーを行い、帰国後は「こえ」と「からだ」に関する著書を多数発表するほか、ワークショップ講師としての活動にも力を注ぐ。

紀伊國屋演劇賞、ゴールデンアロー賞、岸田國土戯曲賞をはじめ、「虚構の劇団」旗揚げ公演からの三部作をまとめた戯曲集『グローブ・ジャングル』（小学館刊）で第 61 回読売文学賞戯曲・シナリオ賞を受賞。

【近年発表の演劇作品（作・演出）】

- 2017年6～8月 本多劇場ほかにて上演
『ベター・ハーフ』 ※再演（初演：2015年） 出演：風間俊介 松井玲奈 中村 中 片桐 仁
- 2017年3～4月 サンシャイン劇場ほかにて上演
舞台版 ドラえもん『のび太とアニマル惑星』 出演：小越勇輝 樋口日奈 皇希 陳内将 ほか
- 2016年11～12月 紀伊國屋ホールにて上演
『サバイバーズ・ギルト&シェイム』 出演：山本涼介 南沢奈央 伊礼彼方 片桐仁 大高洋夫 長野里美
- 2016年4～5月 スペース・ゼロほかにて上演
『イントレランスの祭』 出演：風間俊介 岡本玲 大高洋夫 ほか
- 2014年7～9月 紀伊國屋ホール開場50年記念公演
『朝日のような夕日をつれて2014』 出演：大高洋夫、小須田康人、藤井隆、伊礼彼方、玉置玲央

【著作】最近作

- <戯曲> 「深呼吸する惑星」（第三舞台封印解除&解散公演）（白水社）、『キフシャム国の冒険』（白水社）
- <小説> 「青空に飛ぶ」（講談社）、「ジュリエットのいない夜」（集英社）、「八月の犬は二度吠える」（講談社）
- <エッセイ> 「ドンキホーテのピアス」（週刊SPA!にて連載中・扶桑社）
- <その他> 「空気と世間」（講談社現代新書）、「孤独と不安のレッスン」（大和書房）、
「発声と身体のレッスン」（ちくま文庫）、「演技と演出のレッスン」（白水社）
「コミュニケーションのレッスン」（大和書房）、「クール・ジャパン!？」（講談社現代新書）

【映画】（監督作品）

「恋愛戯曲～私と恋におちてください。～」(出演：深田恭子・椎名桔平 ほか) (2010 公開)

【ドラマ】（脚本担当）

- 「家族、貸します～ファミリーコンプレックス～」(NTV) (出演：玉木宏・田中麗奈 ほか) (2012.7 放送)
- 「戦力外捜査官」(NTV) 2014 年 1 月期 (出演：武井咲、TAKAHIRO ほか)
- 「セーラー服と宇宙人～地球に残った最後の 11 人～」(NTV) 2014 年 6 月～O.A.



『監視カメラが忘れたアリア』 旗揚げ準備公演
旗揚げ公演の前に行った「準備公演」。監視カメラの映像を「見る」仕事を与えられた警官は、ある日その映像から婚約者の嘘を見つけてしまう。監視社会がはらむ危険性と、可能性をあぶりだした作品。

●2007/11/29～12/9：中野ザ・ポケット（14回）



『グローブ・ジャングル』 旗揚げ公演

ロンドンの日本人コミュニティを舞台に、ネット社会で傷ついた女性の再生の物語を描く。劇中劇で「屁こき女房」や「桃太郎」などの民話を現代版としてアレンジ。劇団員の躍動感あふれるダンスが評価を受けた。

●2008/5/10～25：シアターグリーン BIG TREE THEATER（16回）



『リアリティ・ショウ』 第2回公演

劇団の起死回生を図って、自分たちの共同生活全体を24時間ネットで放送することを受け入れた男女9人の物語。終始監視される中で生まれ、崩壊する人間関係。多数の「他人」に晒されることで明らかになる人間の本質を描く。

●2008/12/12～12/20 紀伊國屋ホール（10回）



『ハッシャ・バイ』 第3回公演

ある日、一人の探偵事務所を訪ねた依頼人は「いつも同じ夢を見る」と語り始める。夢でみた風景を探す私立探偵と依頼人。真相に近づくにつれ、二人の現実には夢に取り込まれていく…繰り返されるどんでん返し。先に待つ、衝撃の結末とは。劇団「第三舞台」の衝撃作、鴻上尚史の演出で18年ぶりに上演！

●2009/8/7～8/23 座・高円寺1（17回）



『監視カメラが忘れたアリア』 第4回公演

劇団初の客演：古河耕史を迎えて、旗揚げ準備公演の再演。旗揚げ三部作の始まりの物語として、再演に際し、3つのストーリーを明確につなげる改訂がなされ、三部作としての完成度を高めた。

●2010/2/5～2/21 座・高円寺1（17回）



『エゴ・サーチ』 第5回公演

ある日、本名・プロフィールが自分と全く同じ人物のブログを発見し、正体をつきとめようと画策するうち、失っていた記憶を取り戻す男の物語。男の書く小説の世界と、失くした恋人との思い出の世界が多層的に描かれる。

●2010/9/6～9/19 紀伊國屋ホール（10回）



『アンダー・ザ・ロウズ』 第6回公演

ある日、平凡な日常に疑問を持ちながら暮らすサラリーマンの前に、現れた中学時代の同級生は、自分はもう一つの世界から来たといい、男をその世界に連れていく。そこで男は、別の人生を送っていた「自分」の代わりを演じながら、男は自らの内に秘めた情熱に気づき、徐々に過去と向き合う強さを身につけていく。

●2011/4/8～4/24 座・高円寺1 (18回)



『天使は瞳を閉じて』 第7回公演

劇団「第三舞台」の代表作を、7年ぶりに鴻上尚史の演出で上演。マスター役に大高洋夫を迎え、プロローグを大きく書き換えた2011年「虚構の劇団」版。放射線を防ぐ透明なドームに覆われた街で物語は始まる。

●2011/8/2～21 シアターグリーン BIG TREE THETAER (23回)



『夜の森』 虚構の旅団 vol.1

とある精神病院の開放病等で、セラピーの一環として、「星の王子さま」を演じるようになった患者たち。家族、友人、医療スタッフを巻き込んで稽古は大混乱!“普通”からちょっと外れた人たちが見せる、非日常のような日常。

●2012年4月5日～15日新宿シアターモリエール (13ステージ)



『イントレランスの祭』 第8回公演

宇宙人が難民として地球にやってくる、地球人として生活することに。やがて宇宙人を排除しようとするグループと、宇宙人たちの組織との間で争いが始まろうとし、それを煽る地球人や、地球人と共存したいと願う宇宙人達が現れる。イントレランスとは不寛容ということ。不寛容がもたらすものは…。「現代」をとらえた、衝撃作。

●2012/10/30～11/11 シアターサンモール (15回)

●2012/11/23～11/25 ABCホール (4回)



『エゴ・サーチ』 第9回公演

初演(2010年)の好評により再演が実現。筆がなかなか進まない新人小説家がインターネット上に見つけたのは、自分と同じ名前・経歴をもつ「誰か」のブログ。失われた記憶と、届かなかった想い、バラバラに見えたパズルが集まった時に見える真実とは。

●2013/10/5～20 あうるすぽっと (18回)

●2013/10/24～27 HEP HALL (6回)



『グローブ・ジャングル』 第10回公演

2008年旗揚げ公演の再演。鴻上尚史が「虚構の劇団 旗揚げ3部作」として発表し、第61回読売文学賞を受賞した戯曲集のタイトルにもなった、現代社会を鋭く描く「虚構の劇団」の起点といえる作品。

●2014/4/4～13 座・高円寺1 (13回)

●2014/4/17～20 一心寺シアター倶楽 (6回)



『ビー・ヒア・ナウ』 作：鴻上尚史 / 演出：深作健太

「第三舞台」の作品を24年ぶり現代版として鴻上尚史が大幅に改訂し、演出を、映画界のみならず演劇界でも活躍する深作健太が手がけた話題作。「お前を誘拐した。」という手紙から始まる、時空を超えて次々に現れるパワフルなキャラクターたちと膨大な情報量で展開される衝撃の物語の21世紀版。

●2014/7/10～21 シアターグリーン BIG TREE THEATER (16回)

第11回公演

『ホーボーズ・ソング～スナフキンの手紙Neo～』

ホーボーズ・ソングとは、さすらう人達の歌。例えば、賛成派と反対派に分かれて内戦を続ける日本があったとしたら。そこで、ある男に与えられたミッションは、捕虜を尋問し秘密を聞き出すこと。口を割らなければ拷問しろと言われて目の前に現れたのは、かつての恋人だった。劇団初の四国公演を含めた5カ所ツアーを達成。

- 東京／2015/8月25日～9月6日：東京芸術劇場シアターウエスト (15回)
- 大阪／2015/9月11日～13日：近鉄アート館 (4回)
- 香川／2015/9月17日～19日：四国学院大学ノトススタジオ (3回)
- 愛媛・新居浜／2015/9/22～23：あかがねミュージアム 多目的ホール (4回)
- 愛媛・内子／2015/9/26～27：内子座 (3回)



『青春の門』 番外公演 虚構の旅団 vol.3

「虚構の劇団」が、新たな出会いのため旅する番外公演「虚構の旅団」の第三弾では、千葉哲也を演出に迎え、青春小説の金字塔に挑む。

[演出] 千葉哲也

[原作] 五木寛之 (「青春の門」講談社刊より)

[脚本] 鐘下辰男

●2016/2/3～17 スペース雑遊 (18回)



『天使は瞳を閉じて』 第12回公演

2011年に上演した、劇団「第三舞台」の代表作の「虚構の劇団」版の再演。過去最多の客演陣を迎え挑んだ作品。

- 東京／2016/8/5～14：座・高円寺1 (13回)
- 愛媛／2016/8/20～21：あかがねミュージアムあかがね座 (3回)
- 関西／2016/8/26～28：AI・ホール (4回)
- 東京／2016/8/31～9/4：あうるすぽっと (7回)